

《参考》推計児童数

令和元年度第1回加古川市子ども・子育て会議（令和元年6月20日開催）にて示したものを。

（1）推計児童数の考え方

	0歳児	1～5歳児
（仮称）第二期子ども・子育て支援事業計画	①区域ごとに過去10年間（平成22～令和元年度）の0歳児の人口の変化率の平均値（A）を算出。 ②令和2年度は、各小学校区の令和元年度の0歳児の人口に（A）を乗することにより算出。 ③令和3年度以降は、前年度の各小学校区の0歳児の推計児童数に（A）を乗することにより算出。	平成27～令和元年度の就学前児童数の推移によるコーホート変化率法を用いて算出。

（2）－1 各区域における推計児童数

区域	各年度4月1日現在の推計児童数(人)					増減 2年度⇒6年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	増減(人)
区域A	9,887	9,581	9,224	8,928	8,731	△ 1,156
区域B	754	750	744	746	743	△ 11
区域C	1,478	1,396	1,326	1,214	1,132	△ 346
合計	12,119	11,727	11,294	10,888	10,606	△ 1,513

（2）－2 各区域における0歳児の推計児童数

区域	各年度4月1日現在の0歳児の推計児童数(人)					増減 2年度⇒6年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	増減(人)
区域A	1,585	1,549	1,514	1,480	1,446	△ 139
区域B	114	113	112	111	110	△ 4
区域C	180	170	161	152	144	△ 36
合計	1,879	1,832	1,787	1,743	1,700	△ 179